

平成27年2月17日開催
岡山地方裁判所委員会資料

「裁判所職員（裁判所書記官）の 育成について」

～岡山地方裁判所における実情を中心に～

これから裁判所職員（書記官）の育成についての取組の概要をご説明いたします。

まず、その前提ともなります地方裁判所の職制や裁判所書記官の職務内容について簡単に紹介いたしたいと思います。

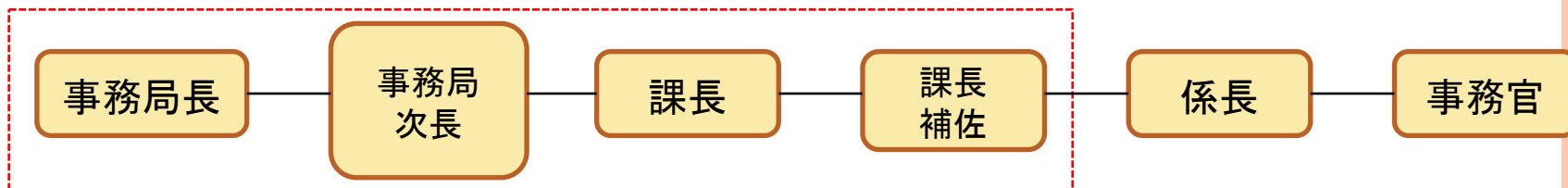


地方裁判所の主な職制

2015/2/17

事務局

所長



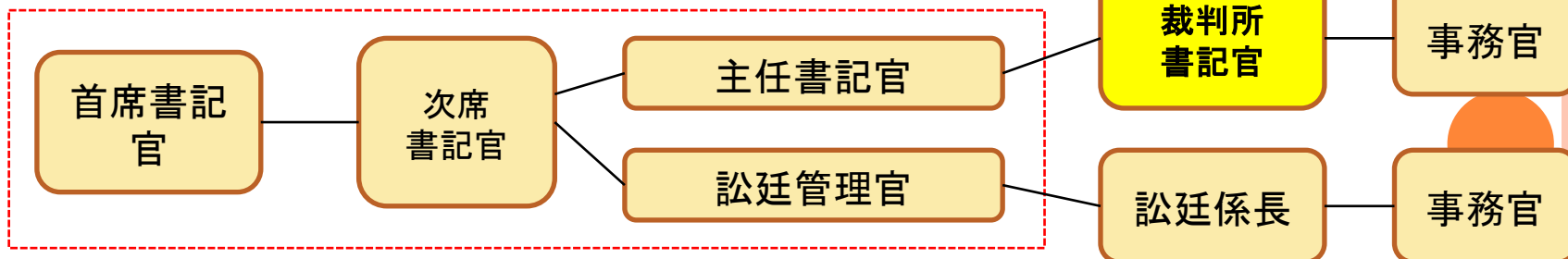
裁判部門

部総括裁判官

陪席裁判官

陪席裁判官

...



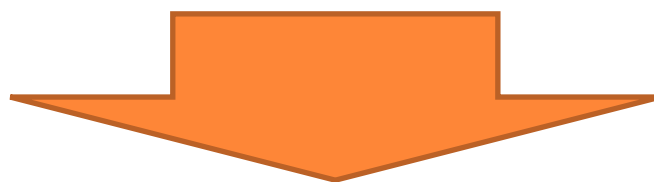
裁判所書記官の 主な職務内容

- 裁判所書記官は、裁判部門に配置され、裁判官の指示命令を受けながら、民事訴訟事件、刑事訴訟事件をはじめ、あらゆる事件に関与します。
- また、裁判所書記官には、法律の専門家として固有の権限が付与されており、その固有の権限に基づいて、公判調書や口頭弁論調書の作成などの事務を行います。

裁判所書記官の養成

2015/2/17

裁判所書記官の職務内容の特性



育成の出発点となるべき養成段階において、一般の裁判所事務官とは異なる枠組みが採られています。

裁判所書記官の養成課程

裁判所書記官養成課程入所試験



裁判所職員総合研修所(さいたま県和光市)
において、1年ないし2年間の研修を修了

- 研修所の養成課程では、民法、刑法等の実体法や民事訴訟法、刑事訴訟法といった手続法の講義のほか、公判調書や口頭弁論調書といった調書の作成等について研修を受けます。
- また、各裁判所の実際の法廷に入って、裁判所書記官事務を体験する実務修習も行います。

裁判所書記官として 求められる人材像

2015/2/17

- 高い倫理観，法規範遵守の執務姿勢
- 専門性
- 事務の根拠・目的に則った合理的な事務遂行
- 円滑なコミュニケーションの構築

裁判所職員の人材育成の柱 ～岡山地裁の実情を中心に～

2015/2/17

- 中長期的な視点に立った育成を重視
- OJTの充実
- 研修(OFFJT)の充実

実務的な専門能力向上 を目的とした研修

2015/2/17

(平成26年度の岡山地裁の自庁研修の例)

- 事件手続説明能力養成研修
- 過誤防止研修
- 危機管理研修

→ これらは、ロールプレイなども取り込みつつ、より実践的な実務能力の向上を意識して実施

裁判所職員の人材育成に関する諸問題

2015/2/17

- 管理職員への登用に向けたサブリーダーの育成策の充実について
- 女性職員の登用(能力活用)に向けた育成策の充実について